

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和4年度分）

（宛先）岡崎市長 殿

令和 5年 6月 12日

団体名 NPO法人 全日本ダウンヒルダービー協会

代表者 天野 温文 構成員 15 人 （※令和5年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ダウンヒルダービーという競技を通して、こどもの健全育成、スポーツの振興を図ると共に交通に関する事業を行い、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与すること

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

| 活動日 又は期間 | 場 所 | 受益者※ | | 活 動 内 容 | 効 果 | 分類 ※ |
|--------------|--------|----------|-----|---|-----------------------------|---------|
| | | 会員以外 | 会員 | | | |
| 5月 5日 | 中央総合公園 | 252 人 | 10人 | 中総ファミリーフェスタに参加。ミニダウンヒルダービー・ワークショップを実施し、親と子供のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献。 | 親子のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献できた。 | ③ |
| 10月15日 | シビコ西広場 | 6人 | 3人 | 「三土市」に参加。ミニダウンヒルダービー・ワークショップを実施し、親と子供のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献。 | 親子のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献できた。 | ③ |
| 11月 5日 6日 | 乙川河川敷 | 61人 | 6人 | 「家康公秋まつり・商工フェア」に参加。ミニダウンヒルダービー・ワークショップを実施し、親と子供のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献。 | 親子のふれあいを通じて、児童の健全な育成に貢献できた。 | ③ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

新型コロナウイルス感染拡大防止のため（新型コロナウイルスの影響により）公益活動が全く実施できなかった。（該当する場合)

※**受益者** 団体が提供したサービスを受けた人

※**分類** ①=人を助ける活動 ②=活動の担い手を育てる活動 ③=人々を啓発し、団体の目的を広める活動

☆活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

少しずつイベントが開催されるようになり、参加して貢献できる機会が増えてきた。